様式３(2020.08改)

作成日　令和3年2月25日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000989
事業所名	介護支援センターつばさ グループホーム事業

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	小・中学生との交流や、傾聴等の簿絵ランティアを受け入れていたが、現在は自粛している。 コロナ禍においてもボランティアの問い合わせがあり、ホームが地域の一員として受け入れられていることがうかがえる。 小・中学生との交流や、傾聴等のボランティアの再開が待たれる。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	運営推進会議が自由な意見交換の場となっている。 外部の関係者と一体となり、大規模災害が起きた際の防災に関する検討会議や、ホームのあり方について考える機会を設けている。 運営推進会議に消防署員を招き、AED訓練も受けている。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	制度に関することや手続きなどで不明な点があれば、担当者と相談できる関係性を築いている。 認知症カフェを通じて地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者支援への理解を深める活動を行っている。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	コロナ禍により、現在は窓越し面会となっている。 職員は、家族からの意見・要望を面会時に聞き取るように努めている。 職員全員が家族との関わりを大切にしている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルスの感染状況を注視し、通常（集合・対面）の開催が困難と思われる場合は、市の方針に沿って書面開催としている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										